2022
Vol.28

九大別府病院だより

Kyushu University Beppu Hospital

当院敷地内において撮影（令和４年５月）

病院の理念・基本方針

理　念

患者さんに満足され、医療人も満足し、医療の発展に貢献する病院を目指します。

基本方針

- ◆ 高度医療の提供と研究開発の推進
- ◆ 地域医療への貢献
- ◆ 全人的医療を実践する医療人の養成
- ◆ より高い医療安全の追求
- ◆ 情報技術を基盤にした国際化の推進

患者さんの権利と責務

私どもは患者さんの権利を守り、病院の理念に基づいた、公平で良質な医療を提供することを目指します。

シリーズ診療科特集 第5回　放射線科 …… 2～3
紹介元医療機関のご紹介 …… 4～5
新任医師の紹介 …… 6～7
外来診療案内等 …… 8

九州大学病院別府病院
Kyushu University Beppu Hospital

シリーズ
診療科特集
第5回

放射線治療　新装置への期待

放射線科　本村　有史

放射線治療は手術や抗がん剤、免疫療法などと並ぶ癌治療の柱として広く用いられています。特にこの25年ほどの進歩は目覚ましく、病巣に放射線を集中的に照射できる治療法や治療機器の開発がすすみ、特に精度の高い照射法を高精度放射線治療と呼んでいます。

その代表としてIMRT(強度変調放射線治療；病変の形や位置に合わせて非常に複雑な照射をする方法)や定位放射線治療(比較的小さな病変に対して効果を発揮し、多くの方向からピンポイントでがんを狙い撃ちする治療)があり、当院でも導入してこれまでに10年以上が経ちました。これまでにIMRTは180例、定位放射線治療は90例を超える患者さんが治療を受けていますが、からだへの負担が少なく効果も高い治療として、患者さんの満足度も高い治療が提供できていると思います。

しかしながら現状の当院の治療設備では高精度治療の対象となる病気を網羅できているとは言えず、残念ながら当院では最適な治療を提供できない方もおられます。

この現状を打開すべく、2024年の別府病院の新病院開設にあわせ、放射線治療部門は大きな進化を予定しています。

一つ目は現在の放射線治療装置(リニアック)の更新です。

現在稼働中の装置は、高精度放射線治療が可能な機種として大分県では他院に先駆けて平成21年4月に導入されたものです。現在でも通常の治療は全く問題なく可能ですが、特に高精度治療となると最新機種に比べて治療時間が長くかかる他、照射可能な部位・照射方法にも制約があります。このため現在までは定位放射線治療は肺がんの治療に、IMRTは前立腺がんの治療にほぼ限定しています。一方で、高精度放射線治療が保険適応となる病気の範囲は近年拡大傾向にあります。定位放射線治療は頭蓋内・頭頸部腫瘍や肺癌、肝癌、前立腺癌に加えて、膵癌や脊椎転移・5個以内の小数個の転移性病変も近年新たに保険適応となり、またIMRTも限局している多くの悪性腫瘍が適応となります。既に多くの患者さんや幅広い病状に対して高精度治療が保険診療として行える状

況であるため、当院の治療機器でもこれに対応して高精度治療の適応対象を広げることが可能となる見込みです。

二つ目は腔内照射装置の導入です。これは放射線の線元源を病変近くまで送達する装置であり、体内から病変部に強い放射線の照射が可能となります。子宮頸癌をはじめ婦人科癌の根治的放射線治療にはほぼ必須となる照射方法ながら、現在これを有する施設は県内には大分大学病院のみです。新病院開院時に再開設予定の婦人科へ受診される患者さんの治療を当院内で完結できるように、新病院開院後早期の導入を目指しています。

これらに先駆け、治療計画を行う装置として九州大学病院本院と同仕様のVarian社の装置を昨年新たに導入しました。新しい装置の高い計算性能は特にIMRTのような複雑な治療計画に実力を発揮し、従来より理想的な放射線治療プランの作成が可能となりました。また4D-CT(動画でのCT撮影)画像に対応し、呼吸などで動く病変に対し正確な治療計画が可能となりました。さらに、放射線治療データを九州大学病院と共有することで相互に治療プランが参照可能となっており、別府病院-九州大学病院本院の放射線治療部間での連携も強化されました。

今後の治療機器の拡充に伴って、新たに治療が可能となる患者さんに適切な放射線治療を提供するためにも、引き続き内科・外科・画像診断・内視鏡治療・血管内治療などの各専門医師ともがん診療カンファレンス等を通して院内でも連携して治療を行なっていきます。これまでの高精度放射線治療の実績を活かし、より満足いただける治療を、より多くの患者さんへ提供できるよう一層努めて参りますので、今後とも引き続きご支援・ご指導をいただきますようお願いいたします。

紹介元の医療機関のご紹介

別府駅ゆのまち内科・胃と腸クリニック

院長 岩尾 俊昭 先生

別府駅ゆのまち内科・胃と腸クリニック

岩尾俊昭院長

別府駅ゆのまち内科・胃と腸クリニックの院長を務めております岩尾俊昭と申します。

この度はこのような機会を頂きまして誠にありがとうございます。

「別府駅ゆのまち内科・胃と腸クリニック」という長い名前ですが、「ゆのまち内科」でも「ゆのまちクリニック」でも呼び方は何でも構いません。別府駅構内にある内科クリニックです。

『皆さんと、より近い距離で、一人の人間として関わり、寄り添い、支えていきたい。』という思いで、2020年12月に別府駅構内に開院させて頂きました。

「気軽に相談できるクリニックに。柔軟に対応できるクリニックに。街、生活、人生の一部に。」というコンセプトのもと、開院以来、地域に根差したかかりつけ医を目指してまいりました。

当院は下痢・便秘や腹痛などの腹部症状・胃内視鏡・大腸内視鏡を中心に、風邪症状、不眠高血圧、脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病治療も行っております。

診断がつかない場合、精査が必要な場合は速やかに高次医療機関へ紹介させて頂いております。質の高い診断と適切な治療を行う上で、九州大学病院別府病院をはじめとする総合病院との連携が最も重要であると考えています。

内視鏡検査については鎮静剤の使用や、経鼻カメラ、胃カメラ・大腸カメラの同日施行、日帰りポリープ切除など、患者さま一人ひとりに合わせた検査・治療計画をご提案させて頂きます。生活習慣病についても同様に一緒に相談しながら診療計画を立てていきます。

本当は治療が必要なのに、「病院嫌い」のために治療を全く行わない。これは良いことではありません。受診・通院することへの「心のハードル」が下がるように、我々医療者が努める。そうすることで皆さんの健康寿命が延び、地域が幸せになると考えています。

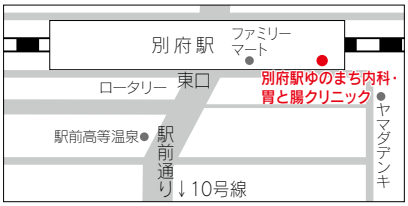
今後も皆さんに寄り添いながら誠実な診療を行い、癒しのクリニックを目指し精進してまいります。

気になる症状があればお気軽にご相談いただけると幸いです。

◆DATA

住　所	大分県別府市駅前町12-13
電　話	0977-76-8500
資　格	日本内科学会認定内科医・日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医
診療科目	消化器内科、内視鏡内科、内科

◆アクセスMAP



紹介元の医療機関のご紹介

新森内科クリニック

院　長　新森　徳長　先生

新森内科クリニック

新森徳長院長

こんにちは。新森内科クリニック院長の新森徳長です。

先代の新森義信が別府市石垣に新森内科医院を開業して以来44年となりました。あなたの町のお医者さんを目指して2代目若先生が地域医療に従事しています。

かぜ、頭痛、腹痛、下痢といった体調不良から、高血圧症、肥満症、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病、インフルエンザ、アレルギー性鼻炎(花粉症)といった季節性疾患から、慢性腎臓病、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、慢性心不全といった慢性疾患まで、幅広い疾患を診療してします。

いつもと違うな、これって病気かな?何科に行ったら良いのだろう、といったときにもお気軽にご相談ください。一般血液検査をはじめとして、各種抗体・抗原検査、レントゲン、超音波検査、血液検査による腫瘍マーカーのチェックが可能です。患者さんと相談し治療方針を決定しますが、『不必要な投薬はできるだけ避ける』、を合言葉に診療しています。

また、インフルエンザワクチンをはじめ、帯状疱疹ワクチンや肺炎球菌ワクチン、アフターコロナに備えての海外渡航ワクチン接種も可能ですのでご相談ください。

また当院は九州でも数少ない医科歯科連携可能なクリニックです。病を防ぐために十分な食事は不可欠であり、歯は食欲・健康を保つ大切な要素です。健康が気になる方はぜひ相談ください。医科、歯科二つの側面からサポートさせていただきます。

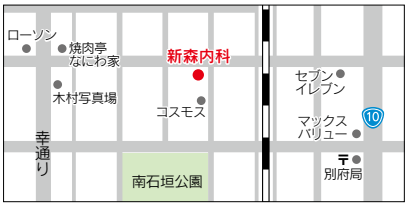
新森内科・歯科クリニックはこれからも皆様の健康管理を使命とし、良き相談役となれるよう励んでまいりますのでよろしくおねがいします。

※最後に
発熱外来を併設しています。体調不良があり新型コロナウイルス感染症を心配されている方はまず電話でご連絡下さい(徒歩でも発熱外来は受診可能ですが要予約です)。

◆DATA

住　　所：大分県別府市石垣東5丁目1-25
電　　話：0977-25-5261
診療科目：内科・胃腸内科・循環器内科・呼吸器内科・腎臓内科

◆アクセスMAP



Topics 新任医師の紹介

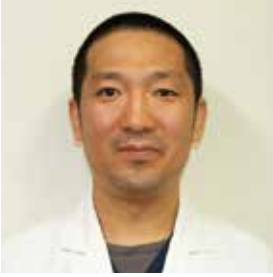
内　科

大村　洋文
（おおむら　ひろふみ）

2022年4月より内科に赴任しました大村洋文と申します。

2017年に九州大学を卒業後、国立病院機構九州医療センターでの初期臨床研修を修了後に同院 腫瘍内科での後期研修、九州大学大学院医学系学府医学専攻(がん専門医師養成コース)、九州大学病院 血液・腫瘍・心血管内科にて、腫瘍内科医として研鑽を積んで参りました。腫瘍内科では、主にがん薬物療法(抗がん剤治療)を行っております。近年がん薬物療法の開発の進歩により治療選択の幅は拡がりつつありますが、一方で治療内容は複雑化し、様々な副作用への対応も求められております。個々の患者さんに最適な治療を選択し、提供できるよう努めております。また様々な合併症や苦痛を抱えるがん患者さんへ臓器横断的に、そして全人的に関わっていくことを目標としております。これからもより良い治療を提供できますよう、日々研鑽を積んで参る所存です。どうぞ宜しくお願い致します。

外　科

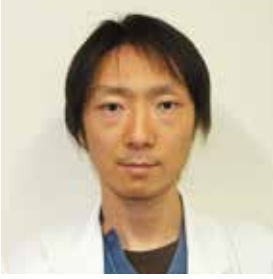


細田　清孝
（ほそだ　きよたか）

2022年4月より九州大学病院別府病院に医員として赴任しました細田清孝と申します。出身は長野県です。2013年に信州大学を卒業、長野県内で肝胆膵外科を中心に消化器外科医として勤務しておりました。2021年10月から生まれて初めて長野県を出て、別府病院で大学院生として研究をさせていただいております。

少しでも皆様の力になれる様、精一杯頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

放射線科



南條　勝哉
（なんじょう　かつや）

放射線科の南條勝哉と申します。今まで九州大学病院、宗像医師会病院、九州がんセンター、中津市民病院で勤務してまいりました。去年は中津でから揚げを堪能させていただきましたので今年は温泉を堪能させていただきたいと思います。

また放射線科ではありますが、読影業務と併せて上部・下部消化管内視鏡や消化管の透視検査も勉強させていただきました。九州大学病院別府病院でも消化管分野の検査を担当させていただいております。内科・外科の先生方との横のつながりを大事にしていきたいと思いますので、是非気軽に相談していただけたらなと思います。

整形外科

大野　瑛明
（おおの　てるあき）

2022年4月より整形外科医員として赴任しました大野瑛明と申します。出身は、愛媛県松山市で、同じ地で育ちました。昭和大学を卒業後、九州大学整形外科に入局いたしました。7年前に九大別府病院で一年間勤務させて頂き、その後、小倉医療センター、JCHO九州病院などで診療と、大学院では基礎研究をさせて頂き、またこの地に、戻ってきました。本年度は脊椎疾患を担当させて頂きます。まだまだ未熟な身ではありますが、これまでの経験を生かして、少しでも、みなさまのお役に立てるように精進して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

麻酔科

徳田　賢太郎
（とくだ　けんたろう）

2022年４月より麻酔科に赴任いたしました。1997年九州大学を卒業後、麻酔科医となり、また2009年9月から2012年3月まで米国ボストンのマサチューセッツ総合病院麻酔科に研究留学していました。2012年4月からの10年間は九州大学病院集中治療部・救命救急センターに勤務し、特にこの2年間は自分の専門とする人工呼吸管理の知識・技術を生かして、40名以上の重症COVID-19患者さんの集中治療に従事していました。

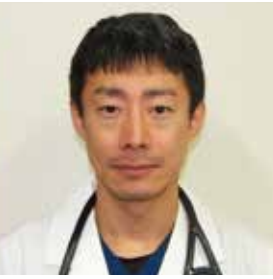
ところで、留学中の研究テーマは「硫化水素ガスを吸うと体に良い（臓器保護効果がある）」というものでした。実は温泉の匂いの主成分が硫化水素です。別府病院に赴任して毎朝自宅の玄関を出ると、出勤途中のあちらこちらで硫化水素の匂いがしますので、留学時代を懐かしく思い出しながら毎日麻酔業務に取り組んでいます。どうぞよろしくお願いいたします。

長松　大子
（ながまつ　まさこ）

2022年４月より当院麻酔科に赴任しました、長松大子といいます。出身は大分県宇佐市です。久留米大学医学部を卒業後、大分県立病院で初期研修を行い2017年に九州大学病院麻酔科蘇生科へ入局しました。これまで本院や福岡市内の病院で手術麻酔を行って来ました。久しぶりに地元大分に戻って来られ嬉しく思います。

患者さんに安心・安全に手術を受けて頂けるよう、術前から術後まで丁寧な医療を心掛けてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

慢性疾患診療部



秋山　雄介
（あきやま　ゆうすけ）

2022年４月より九州大学病院別府病院内科に着任いたしました秋山雄介と申します。循環器内科を専門としており、外来では、虚血性心疾患、心不全、不整脈、心臓弁膜症、下肢閉塞性動脈硬化症、高血圧症、睡眠時無呼吸症候群などの疾患に対しまして、検査・治療を行なっております。心疾患は老化や生活習慣病との関りが深く、複数の持病を抱えている方も多いため、それぞれの患者さんに適した医療を行っていきたいと考えております。微力ではございますが、患者さんのお役に立てるよう丁寧な診療を心がけます。

私は別府で勤務するのは初めてですが、病棟からは鶴見岳や別府湾の美しい景色が見渡すことができ、自然豊かな別府の魅力を感じながら日々清々しい気持ちで仕事に臨んでおります。どうぞよろしくお願いいたします。

九州大学病院別府病院　外来診療案内

2022年7月1日現在

科名	外来診療区分	月	火	水	木	金
内科	リウマチ・膠原病（新患予約制）	堀内孝彦（再来） 木本泰孝 日浦惇貴	堀内孝彦（再来） 日浦惇貴（再来）	木本泰孝 柏戸佑介	病棟回診日	堀内孝彦（再来） 木本泰孝 柏戸佑介
	血液病		山崎聡	山崎聡		山崎聡
	がん・腫瘍（新患予約制）	大村洋文	大村洋文			大村洋文
	慢性疼痛	前田豊樹	前田豊樹		前田豊樹（再来）	
	骨粗鬆症	前田豊樹	前田豊樹		前田豊樹（再来）	
	循環器病一般 心不全・肺高血圧外来 血管疾患外来 睡眠時無呼吸外来 難治性高脂血症外来 （新患予約制）	得能智武 秋山雄介	得能智武 秋山雄介 午後 心血管カテーテル検査・治療日	秋山雄介	病棟回診日 午後 心血管カテーテル検査・治療日（予備日）	得能智武
外科	一般 消化管 肛門	三森功士 米村祐輔 戸島剛男 久松雄一	三森功士 手術日	三森功士 米村祐輔 戸島剛男 久松雄一	三森功士 手術日	三森功士 手術日
	肝・胆・膵	米村祐輔 戸島剛男	手術日	米村祐輔 戸島剛男	手術日	米村祐輔 戸島剛男
	乳腺	三森功士 増田隆明	三森功士 手術日	三森功士 増田隆明	三森功士 手術日	三森功士 増田隆明
整形外科（脊椎脊髄）	脊椎外科（完全予約制）	手術日	熊丸浩仁 齋藤武恭 吉﨑真吾 大野瑛明	手術日	播广谷勝三 齋藤武恭 吉﨑真吾 大野瑛明	播广谷勝三 熊丸浩仁 大野瑛明
放射線科	放射線治療	本村有史	本村有史		本村有史	
	放射線画像診断	平川雅和	南條勝哉	平川雅和	平川雅和	平川雅和
共通	上部消化器内視鏡	米村／久松	南條勝哉	南條勝哉	南條勝哉	米村／久松
	下部消化器内視鏡	米村／南條	南條勝哉	南條勝哉	南條勝哉	米村／南條
	EMR／ESD	南條勝哉	南條勝哉	南條勝哉	南條勝哉	南條勝哉
	ERCP	――	――	――	――	――
	セカンドオピニオン	要予約				

※担当医は変更となる場合がありますのでご了承ください。

受付時間
初診　8:30〜11:00
再来　8:30〜12:00（予約の方は除く）

地域医療連携室へお電話ください
- 整形外科 … 完全予約制
- 内科：リウマチ・膠原病、がん・腫瘍、循環器 … 新患予約制
- 放射線治療 … 初診8:30〜11:00

※但し土日、祝日は休診（急患は除く）　代表電話0977-27-1600　地域医療連携室：フリーダイヤル 0120-272-518　直通：0977-27-2055

地域医療連携室より 問合せ先ご案内

◆CT・MR・骨密度・内視鏡検査のご依頼

放射線科受付 0977-27-1722（直通）

- 検査依頼は、電話にて受け付けております。依頼検査優先時間帯を設けています。
- 結果は、CDデータ、報告書とともに、ご依頼いただきました先生方へ迅速にお返事いたします。

◆放射線治療のご依頼

地域医療連携室 0120-272-518（専用）
0977-27-2055

- 乳癌、食道癌、肺癌、前立腺癌、悪性リンパ腫、癌性疼痛に対する緩和治療、その他の悪性腫瘍についてはご相談ください。
- 放射線治療の診療は、事前に連絡をいただければ、持ち時間が少なくなるよう配慮させていただきます。

その他、外来・入院に関するお問い合わせ

月〜金　8:30〜17:00　0120-272-518（専用）
TEL：0977-27-2055（直通）　FAX：0977-27-3008（24時間受信可）

九州大学病院別府病院
Kyushu University Beppu Hospital
〒874-0838　別府市大字鶴見字鶴見原4546番地
代表　TEL 0977-27-1600
URL　https://www.beppu.kyushu-u.ac.jp/